

「食に関するアンケート調査」結果

県民の「食」についての考え方を把握するため、県政モニターによるアンケート調査を実施しました。

1 アンケート調査の実施時期

平成18年8月

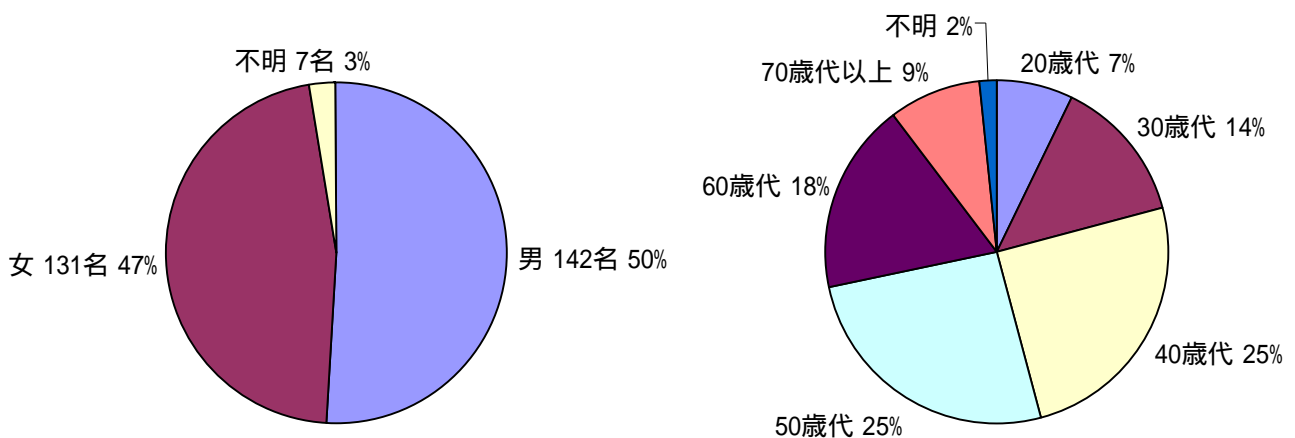
2 県政モニター数

(1)一般モニター(郵送によるアンケート調査)	253人
(2)インターネットモニター(電子メールによるアンケート調査)	107人
合計	360人

3 回答数

(1)一般モニター(郵送によるアンケート調査)	210人(回答率 83.0%)
(2)インターネットモニター(電子メールによるアンケート調査)	70人(回答率 65.4%)
合計	280人(回答率 77.8%)

【回答者の性別、年齢】

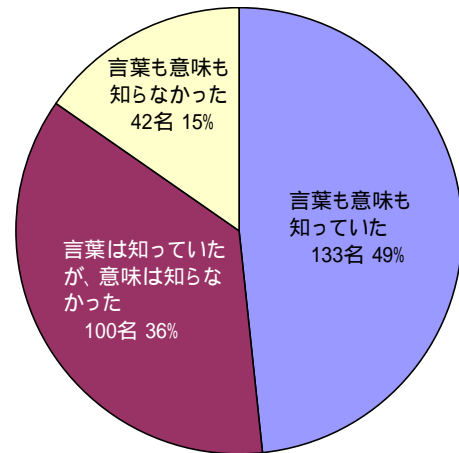


食育について

【問1】 あなたは「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。 (回答者 275名)

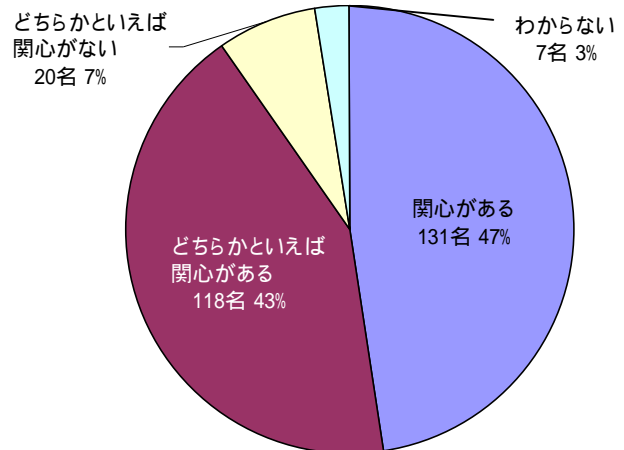
「食育」という言葉を知っている人は、全体の85%でした。

「食育」の意味を知らない人は、全体の51%でした。



【問2】 あなたは「食育」に関心がありますか。 (回答者 276名)

「食育」に「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と答えた人は、全体の90%でした。

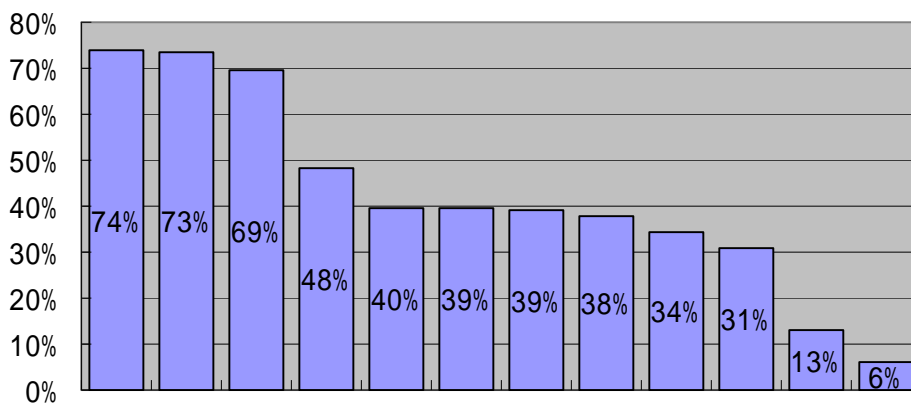


【問3】 あなたが「食育」に関心がある理由は何ですか。

【問2】で「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と答えた人に聞きました。

(複数回答、対象者 249名)

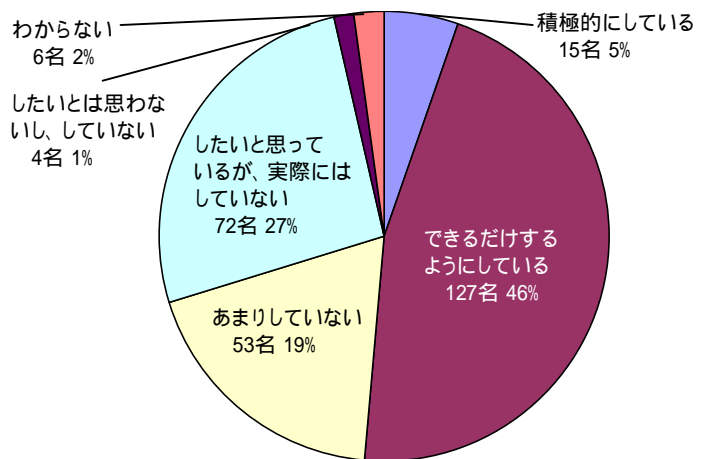
「食育」に関心がある理由を、「食生活の乱れ」や「子どもの心身の健全な発育」、「生活習慣病の増加」と答えた人が多数でした。



- 食生活の乱れ(栄養バランスの崩れ、不規則な食事など)が問題になっているから(184名)
- 子どもの心身の健全な発育のために必要だから(183名)
- 生活習慣病(ガン、糖尿病など)の増加が問題になっているから(173名)
- 自然の恩恵や食に対する感謝の念がうすれているから(120名)
- BSEの発生など、食品の安全確保が重要だから(99名)
- 食料を海外からの輸入に依存しすぎることが問題だから(98名)
- 大量の食べ残しなど食品廃棄物が問題だから(97名)
- 有機農業など自然環境と調和した食料生産が重要だから(94名)
- 肥満ややせすぎが問題になっているから(85名)
- 食にまつわる地域の文化や伝統を守ることが重要だから(77名)
- 消費者と生産者間の交流や信頼が足りないと思うから(33名)
- その他(15名)

【問4】 あなたは日頃から、健全な食生活を行うために何らかの「食育に関する活動」をしていますか。(回答者 277名)

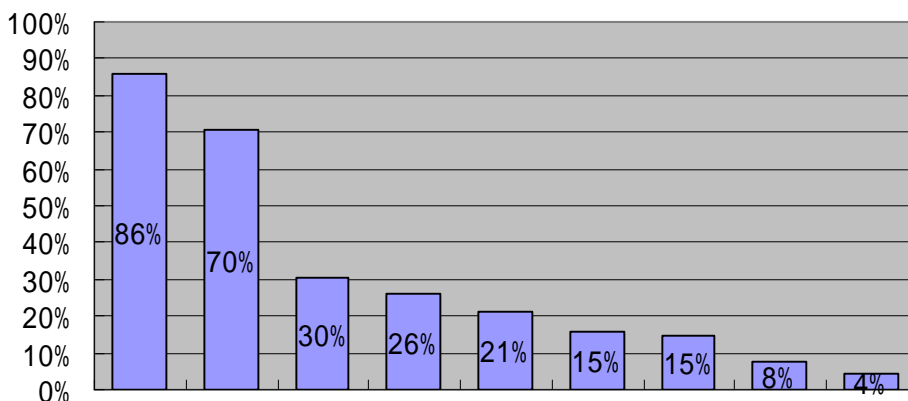
日頃から「食育に関する活動」を「積極的にしている」「できるだけするようにしている」と答えた人は、全体の51%でした。



【問5】 あなたはどのような「食育に関する活動」をしていますか。

【問4】で「積極的にしている」「できるだけするようにしている」と答えた人に聞きました。(複数回答、対象者 142名)

「食育に関する活動」として、「栄養バランスのとれた食生活の実践」「より安全な食品の購入」と答えた人が多数でした。

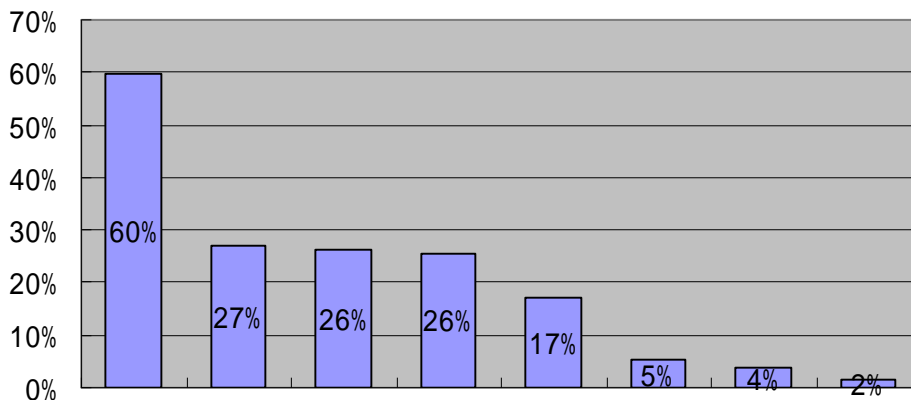


- 栄養バランスのとれた食生活の実践(122名)
- より安全な食品の購入(100名)
- 食料自給状況に関する理解の向上(43名)
- 食品廃棄物の発生抑制や再生利用に関する理解の向上(37名)
- 農業生産・加工活動への参加・体験(30名)
- 食生活の改善に関する勉強会への参加(22名)
- 食に関する伝統行事への参加(21名)
- その他(11名)
- 食に関わるボランティア活動への参加(6名)

【問6】 あなたが「食育に関する活動」をしていない理由は何ですか。

【問4】で「あまりしていない」「したいと思っているが、実際にはしていない」「したいとは思わないし、していない」と答えた人に聞きました。(複数回答、対象者 129名)

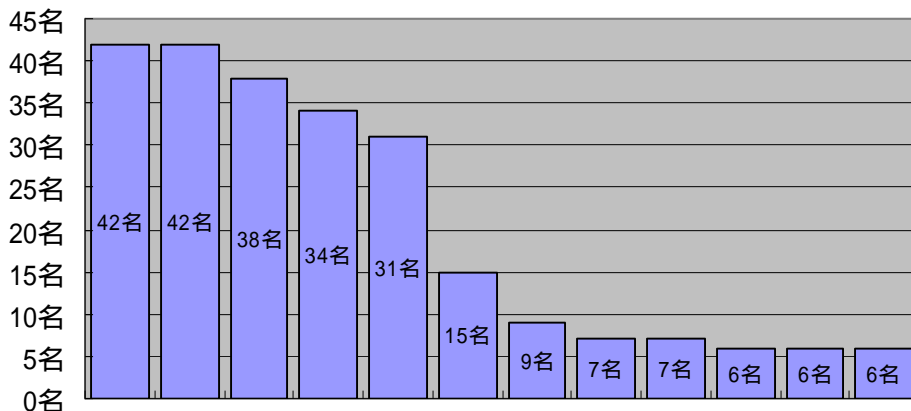
「食育に関する活動」をしていない理由として、「他のこと(仕事、趣味等)で忙しいから」と答えた人が多数でした。



- 食事や食生活への関心はあるが、他のこと(仕事、趣味等)で忙しいから (77名)
- 食事や食生活への関心はあるが、食費を安くすることの方が重要だから (35名)
- 食事や食生活への関心はあるが、特に意識しなくても問題はないから (34名)
- 活動や行動をしたくても情報が入手できないから (33名)
- 「食育」自体についてよく知らないから (22名)
- その他 (7名)
- 自分や家族の食事や食生活に関心がないから (5名)
- わからない (2名)

【問7】 山梨県の郷土食(伝統食)として、「ほうとう」の他に何か知っていますか。

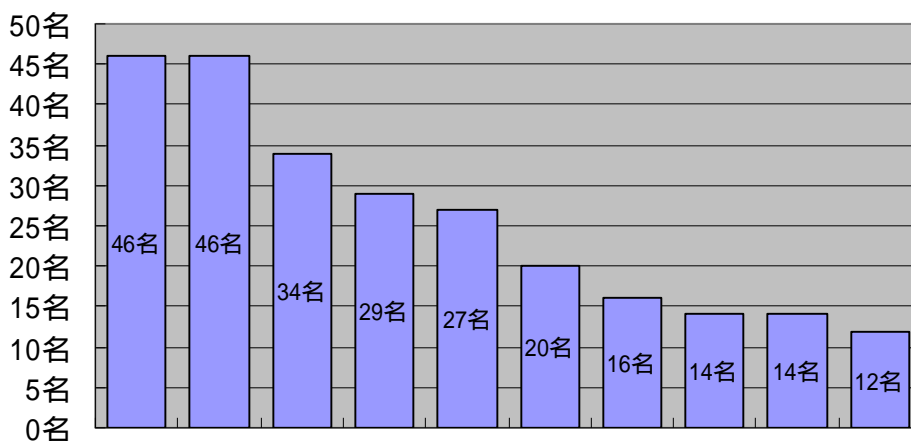
山梨県の郷土食(伝統食)として、366件、105種類の回答がありました。『吉田のうどん、煮貝、おざら、みみ、すいとん』が上位となりました。



- | | | |
|-------------|-----------|-------------|
| 吉田のうどん(42名) | 煮貝(42名) | おざら(38名) |
| みみ(34名) | すいとん(31名) | 馬刺し(15名) |
| そば(9名) | おやき(7名) | ゆば(7名) |
| 酒まんじゅう(6名) | やこめ(6名) | あずきほうとう(6名) |

【問8】 山梨県の特徴のある食材を知っていますか。

山梨県の特徴のある食材として、542件、123種類の回答がありました。『ぶどう、桃、八幡いも、大塚にんじん、煮貝』が上位となりました。

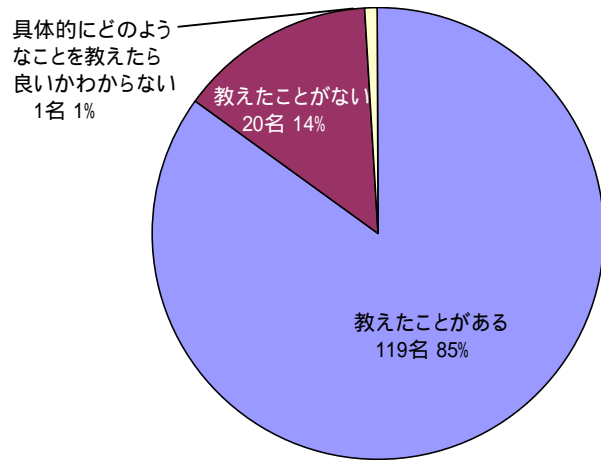


- | | | |
|-------------|---------|---------------|
| ぶどう(46名) | 桃(46名) | 八幡いも(34名) |
| 大塚にんじん(29名) | 煮貝(27名) | 甲州ワインビーフ(20名) |
| とうもろこし(16名) | 大根(14名) | 武川米(14名) |
| 甲州牛(12名) | | |

【問9】 現在、あなたの子ども(中学生以下)に、箸(はし)の使い方など、正しい食事のマナーについて、直接、教えたことがありますか。

現在、中学生以下の子どもがいる人のうち、直接、子どもに正しい食事のマナーを「教えたことがある」と答えた人は85%でした。

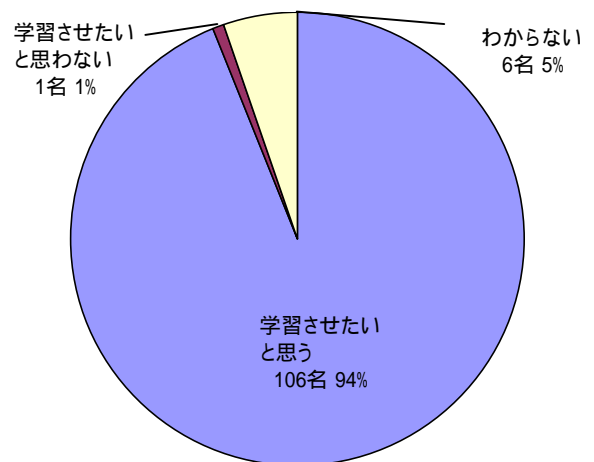
(回答者 140名)



【問10】 現在、あなたの子ども(中学生以下)に、土や動物と親しむ農畜産物の生産体験学習をさせたいと思いますか。

現在、中学生以下の子どもがいる人のうち、子どもに農畜産物の生産体験を「学習させたいと思う」と答えた人は94%でした。

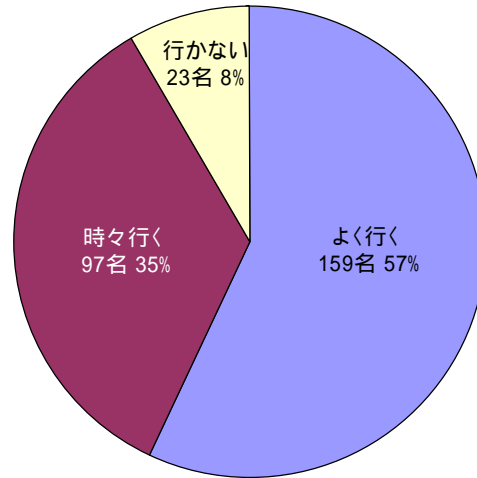
(回答者 113名)



食の安全・安心について

【問1】 あなたは食品の買い物に行きますか。 (回答者 279名)

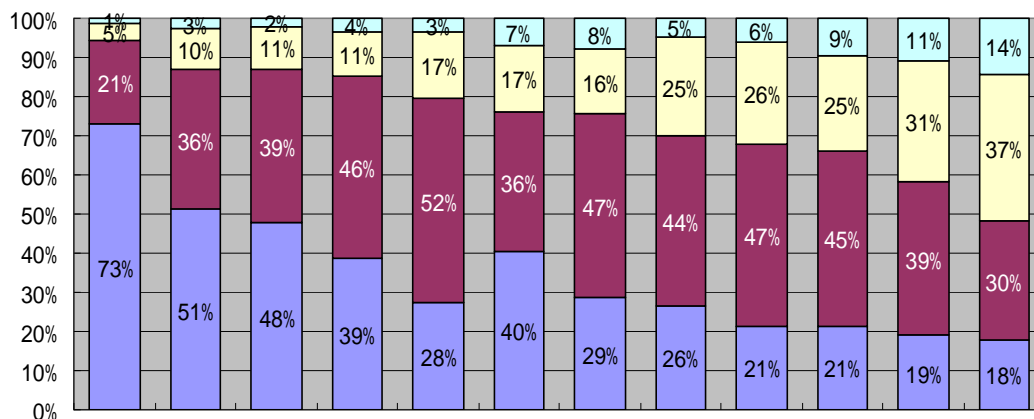
食品の買い物に「よく行く」「時々行く」と答えた人は92%でした。



【問2】 あなたは食品を購入する際、次のことをどの程度、意識していますか。

【問1】で「よく行く」「時々行く」と答えた人に聞きました。(対象者 256名)

食品を購入する際、意識する項目として、「消費(賞味)期限」「国産品・輸入品の別」「輸入品の原産国」等、いずれの食品表示についても多数の人が意識していました。



■ 1 かなり意識している ■ 2 少し意識している □ 3 あまり意識していない □ 4 意識していない

消費(賞味)期限(258名)

国産品か輸入品か(259名)

輸入品の原産国(252名)

農産物(野菜や果物など)における農薬の使用(256名)

加工食品の原材料(258名)

加工食品の遺伝子組換え食品使用の有無(256名)

加工食品の食品添加物の種類(256名)

加工食品の原料原産地(257名)

水産物(魚介類や海藻類など)における養殖、天然の別(258名)

国産品の産地(256名)

地元(山梨県)産であること(259名)

加工食品にアレルギー物質を含むかどうか(257名)

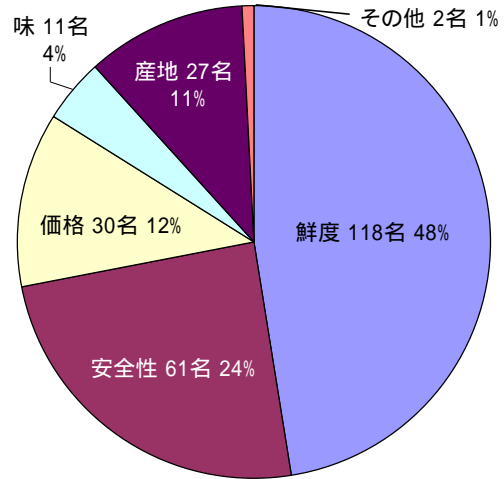
(カッコ)は回答者数(以下、同じ)

インターネットモニターを集計は、各設問の条件を満たさない人の回答も件数に含めている。(以下、同じ)

【問3】 あなたは農畜水産物を購入する際、どのような点を重視していますか。

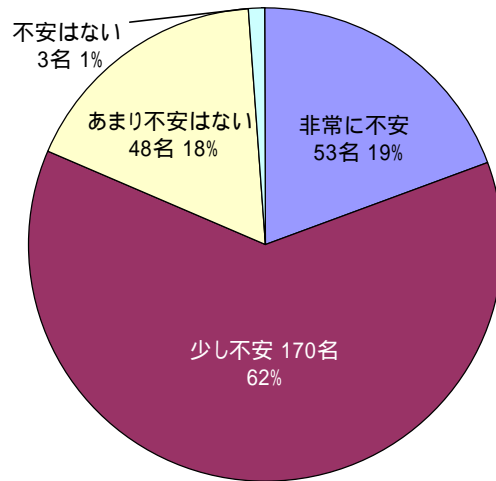
【問1】で「よく行く」「時々行く」と答えた人に聞きました。(対象者 256名)

農畜水産物を購入する際、「価格」よりも「鮮度」「安全性」を重視している人が、全体の72%でした。



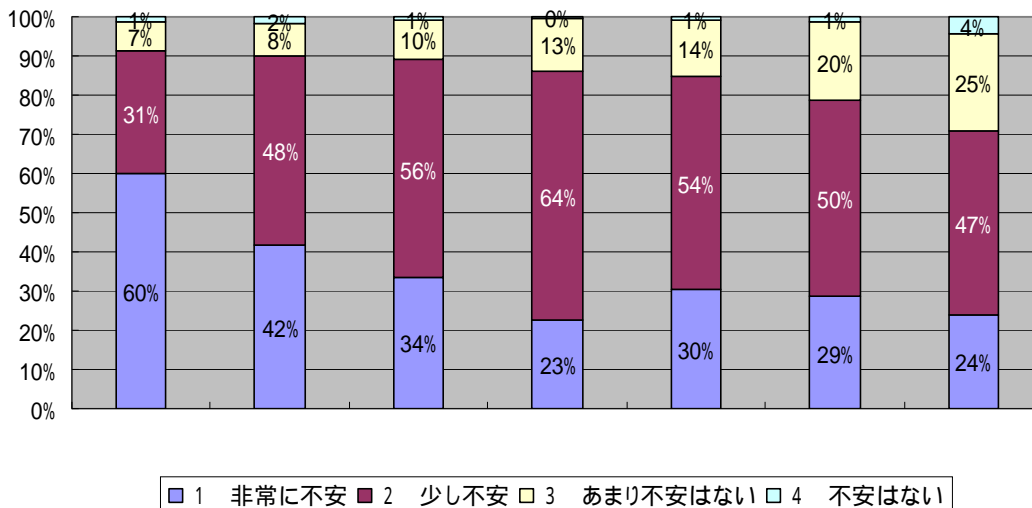
【問4】 あなたは食品の安全性についてどうお考えですか。(回答者 274名)

食品の安全性について、「非常に不安」「少し不安」と答えた人は、全体の81%でした。



【問5】 あなたは次のことについてどうお考えですか。

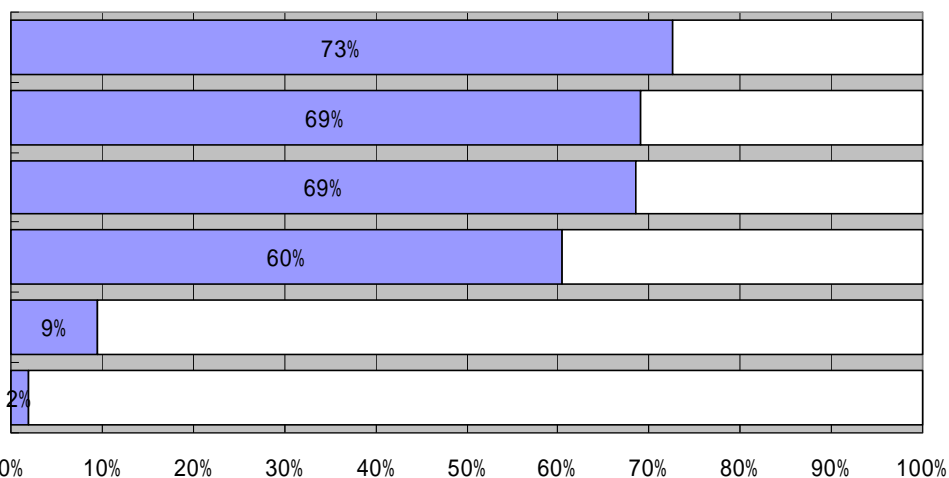
不安を感じる項目としては、「輸入牛の牛海綿状脳症(BSE)」「農産物の残留農薬」「輸入食品」等の順に高くなっています。



- 輸入牛の牛海綿状脳症(BSE)(279名)
- 農産物の残留農薬(277名)
- 輸入食品(277名)
- 食品添加物(275名)
- 畜産物の抗生物質使用(276名)
- 遺伝子組換え食品(271名)
- 国産牛の牛海綿状脳症(BSE)(278名)

【問6】 輸入牛の牛海綿状脳症(BSE)のどのようなことに不安をお持ちですか。

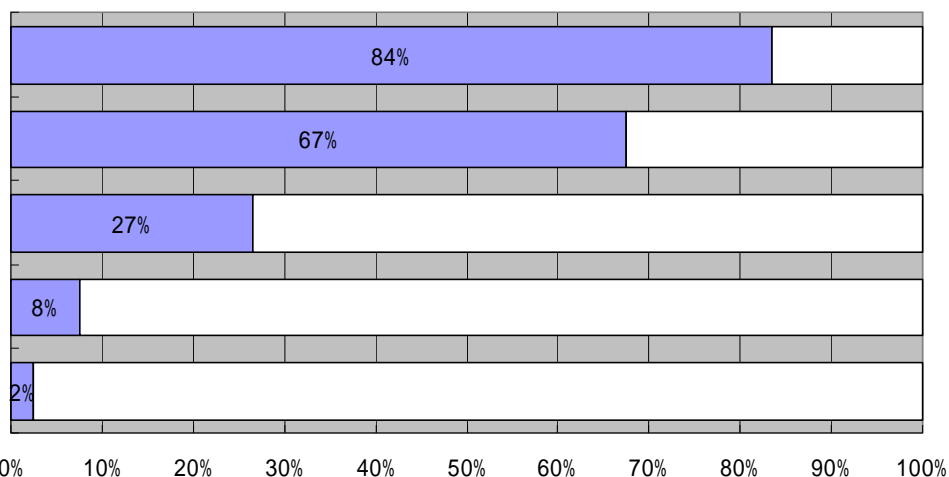
【問5】で「非常に不安」「少し不安」と答えた人に聞きました。(複数回答、対象者 255名)



- 危険部位が適切に処理されているか(185名)
- 飼育状況(肉骨粉飼料の使用の有無など)が分からない(176名)
- 全頭検査を実施していない(175名)
- BSE未発生国でも感染している牛がいるかもしれない(154名)
- なんとなく不安(24名)
- その他(5名)

【問7】 農産物の残留農薬のどのようなことに不安をお持ちですか。

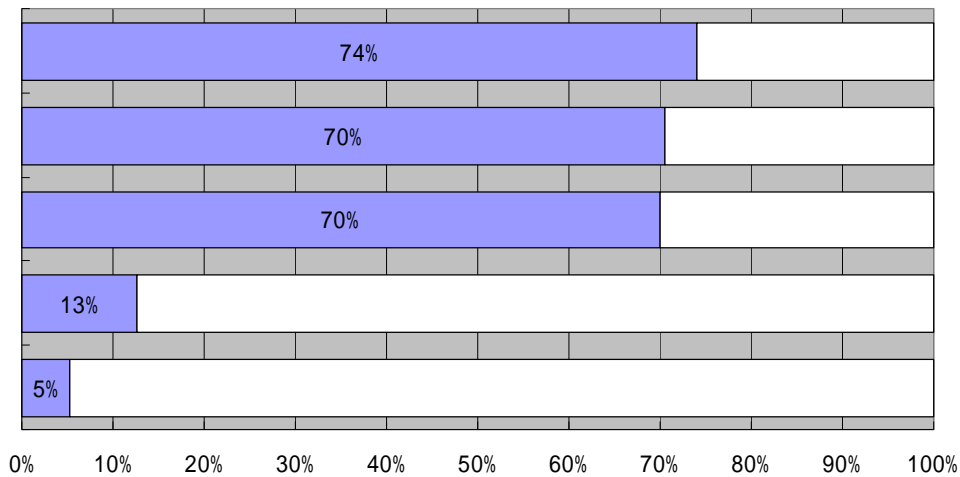
【問5】で「非常に不安」「少し不安」と答えた人に聞きました。(複数回答、対象者 249名)



- 農薬の使用基準が守られているか(208名)
- 残留農薬の検査が不十分ではないか(168名)
- 農薬を使用すること自体が不安(66名)
- なんとなく不安(19名)
- その他(6名)

【問8】 輸入食品のどのようなことに不安をお持ちですか。

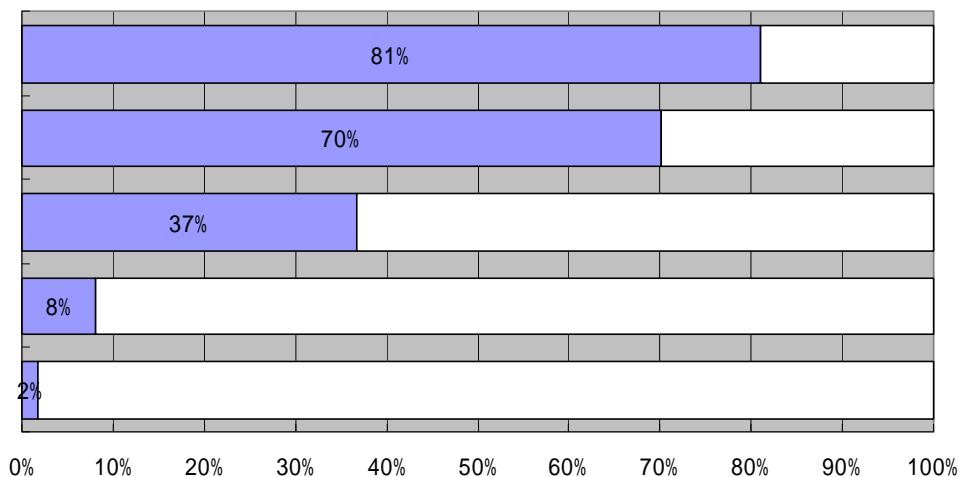
【問5】で「非常に不安」「少し不安」と答えた人に聞きました。(複数回答、対象者 247名)



- 原産国の生産・衛生管理が良くないのではないか(183名)
- 残留農薬などの検査が不十分ではないか(174名)
- 指定外添加物や基準を超える残留農薬が検出されている(173名)
- なんとなく不安(31名)
- その他(13名)

【問9】 食品添加物のどのようなことに不安をお持ちですか。

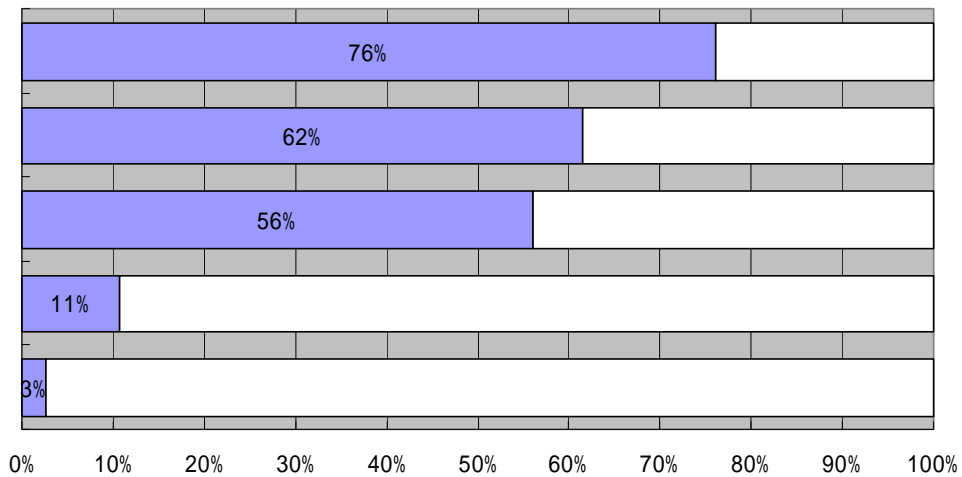
【問5】で「非常に不安」「少し不安」と答えた人に聞きました。(複数回答、対象者 237名)



- 使用基準が確実に守られているか(192名)
- 使用が認められていない食品添加物が使用されていないか(166名)
- 食品添加物を使用すること自体が不安(87名)
- なんとなく不安(19名)
- その他(4名)

【問10】 畜産物の抗生物質使用のどのようなことに不安をお持ちですか。

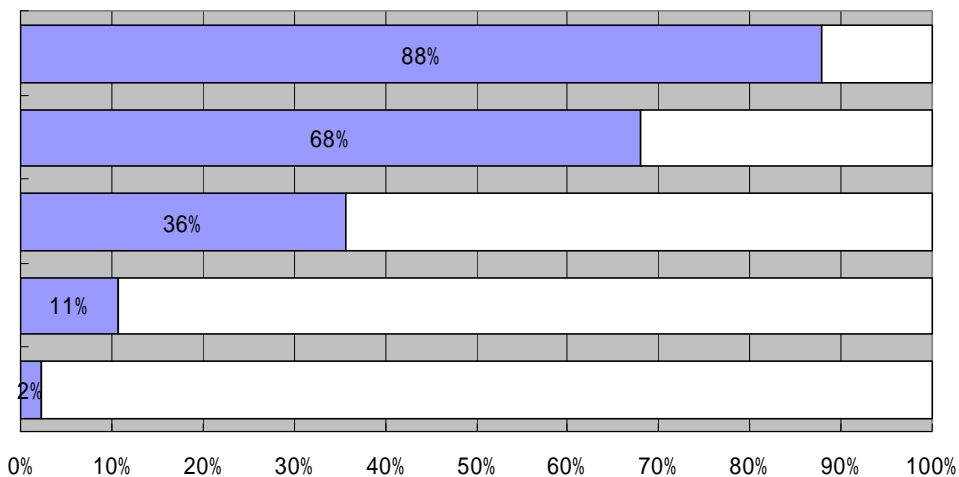
【問5】で「非常に不安」「少し不安」と答えた人に聞きました。(複数回答、対象者 234名)



- 必要以上の抗生物質が使用されていないか(178名)
- 抗生物質に抵抗力を持つ菌が発生する危険性がないか(144名)
- 認可されていない抗生物質が使用されていないか(131名)
- なんとなく不安(25名)
- その他(6名)

【問11】 遺伝子組換え食品のどのようなことに不安をお持ちですか。

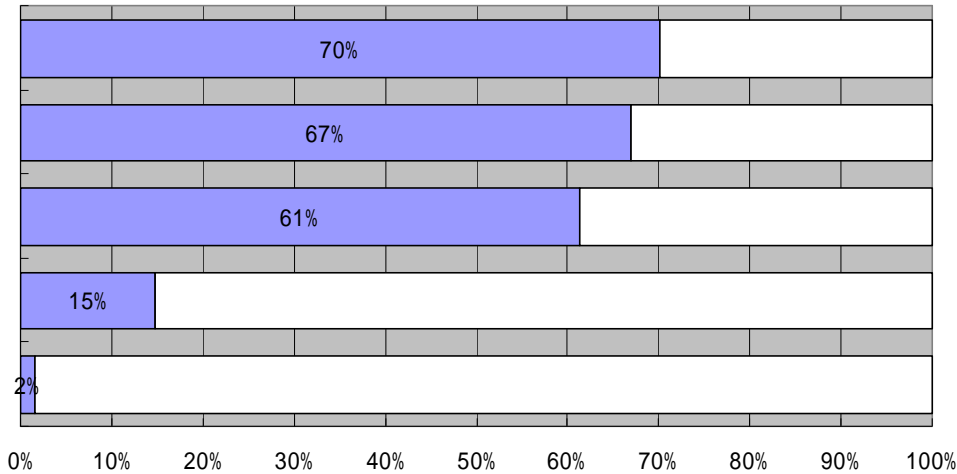
【問5】で「非常に不安」「少し不安」と答えた人に聞きました。(複数回答、対象者 213名)



- 長い間食べ続けて大丈夫かという審査が不十分ではないか(187名)
- 害虫に強いものが人体に対して影響がないか(145名)
- アレルギーを起こすのではないか(76名)
- なんとなく不安(23名)
- その他(5名)

【問12】 国産牛の牛海綿状脳症(BSE)のどのようなことに不安をお持ちですか。

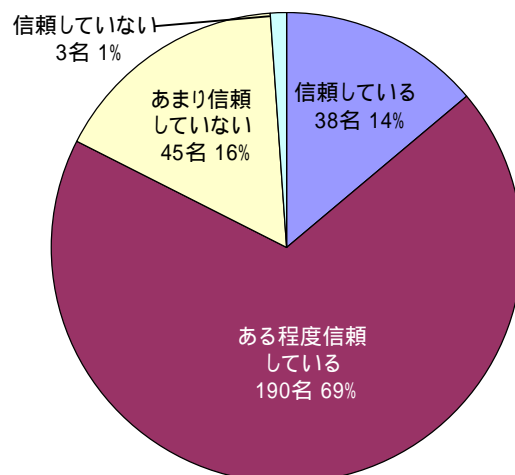
【問5】で「非常に不安」「少し不安」と答えた人に聞きました。(複数回答、対象者 197名)



- 全頭検査で確実にBSEが発見できているか(138名)
- 危険部位(異常プリオンが蓄積される脳、脊髄、眼、回腸遠位部)が確実に取り除かれているか(132名)
- 感染源・経路が特定できていない(121名)
- なんとなく不安(29名)
- その他(3名)

【問13】 あなたは食品に記載されている表示内容を信頼していますか。(回答者 276名)

食品の表示内容について、「信頼している人」「ある程度信頼している人」は83%でした。

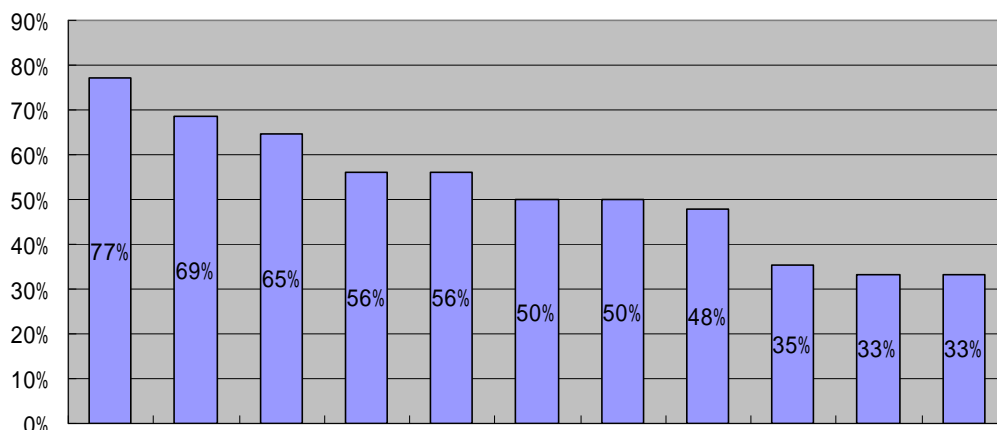


【問14】 信頼していないのは、どの表示ですか。

【問13】で「あまり信頼していない」「信頼していない」と答えた人に聞きました。

(複数回答、対象者 48名)

信頼していない表示としては、「原産国の表示」「食品添加物表示」「農薬を使わないまたは減らしている旨の表示」等の順に高くなっています。



原産国の表示(37名)

食品添加物表示(33名)

農薬を使わないまたは減らしている旨の表示(31名)

消費(賞味)期限表示(27名)

加工食品の原料原産地表示(27名)

原材料表示(24名)

遺伝子組換え食品でない旨の表示(24名)

国内の産地表示(23名)

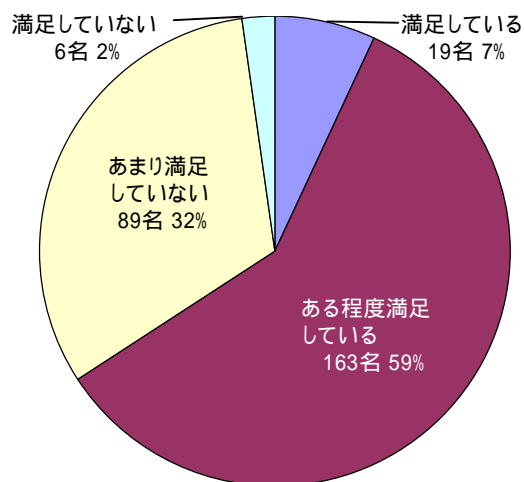
水産物における解凍、養殖の表示(17名)

アレルギー物質の表示(16名)

有機食品の表示(16名)

【問15】 あなたは現在の食品表示に対して満足していますか。(回答者 277名)

食品表示について、「満足している」「ある程度満足している」と答えた人は66%でした。

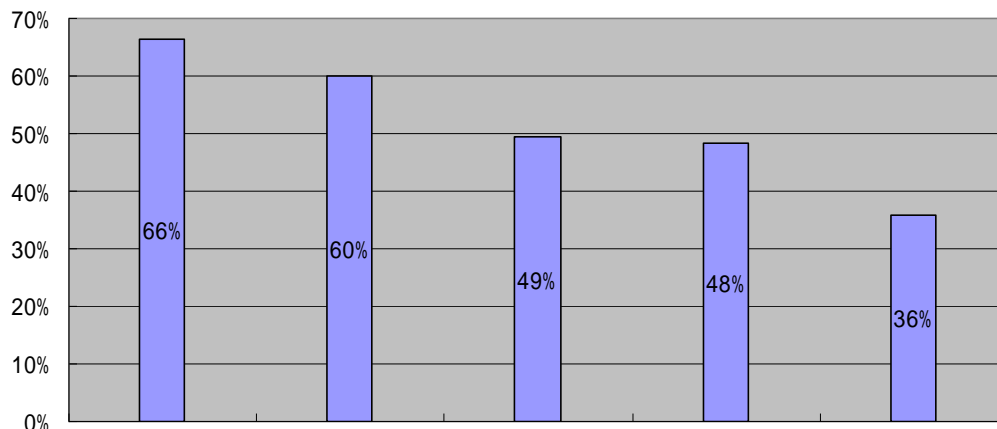


【問16】 満足していないのは、どの表示ですか。

【問15】で「あまり満足していない」「満足していない」と答えた人に聞きました。

(複数回答、対象者 95名)

不満を感じる項目としては、「原材料と食品添加物の区別がしにくい」「加工食品に原産地表示がない」等の順に高くなっています。



原材料と食品添加物の区別がしにくい(63名)

加工食品に原産地表示がない(57名)

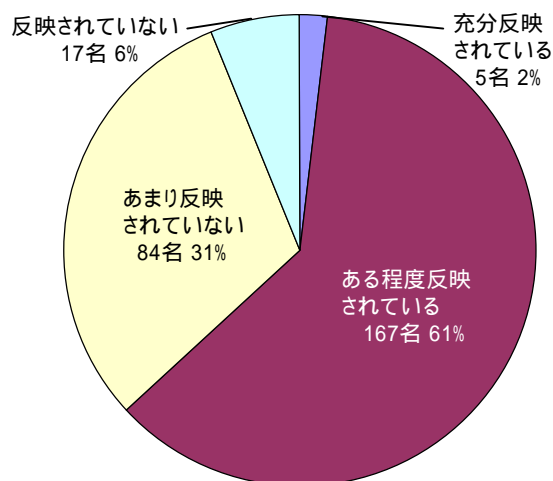
表示が裏面などにあり見にくい(47名)

活字が小さい(46名)

日付表示が分かりにくい(34名)

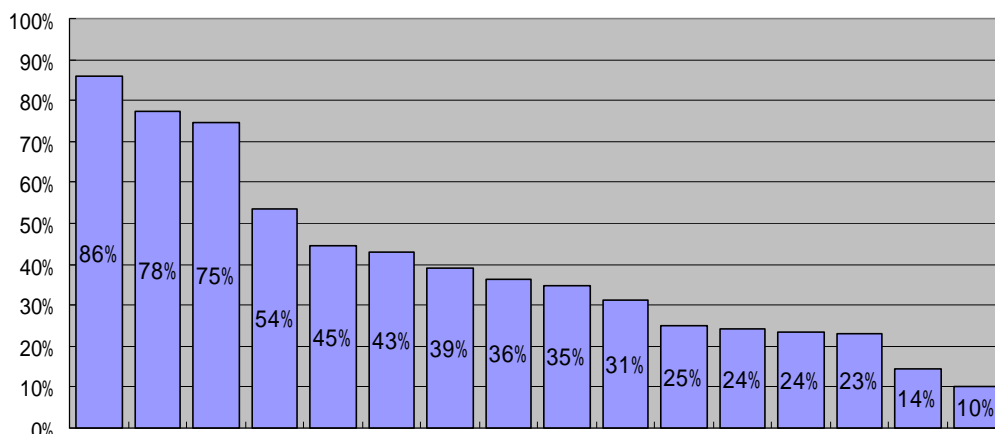
【問17】 安全・安心施策に消費者の意見が反映されていると思いますか。(回答者 273名)

安全・安心施策に消費者の意見が「充分反映されている」「ある程度反映されている」と回答した人は63%でした。



【問18】 安全な食品の確保、安心できる食生活を実現するために、どのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答)

必要な取り組みとして、「輸入食品の監視・検査」「食品の製造・加工・調理段階における安全性の確保」「農畜水産物などの生産段階における安全性の確保」等の順に高くなっています。



- 輸入食品の監視・検査(241名)
- 食品の製造・加工・調理段階における安全性の確保(217名)
- 農畜水産物などの生産段階における安全性の確保(209名)
- 適正な食品表示の徹底(150名)
- 食育の推進(125名)
- 流通・販売段階における安全性の確保(120名)
- 食品の安全性に係る情報の収集・提供(109名)
- 食の安全・安心についての普及・啓発(102名)
- 食の安全・安心に係る調査研究の推進(97名)
- 地産地消の推進(87名)
- 食品の安全性に関する相談の受付・苦情への対応(70名)
- 食の安全・安心に関する情報・意見交換の充実(68名)
- 消費者、生産者、事業者との交流促進(66名)
- 消費段階における安全性の確保(65名)
- トレーサビリティ・システムの整備(40名)
- NPOや食育ボランティア、自主活動組織との協働(28名)

【問19】 県では、食品の表示や安全に関する相談や情報を受け付ける、食品安全110番(055-223-1638)を設置していますが、ご存じでしたか。(回答者 272名)

食品安全110番の設置を知っていた人は8%でした。

